

岡山のとしょかん

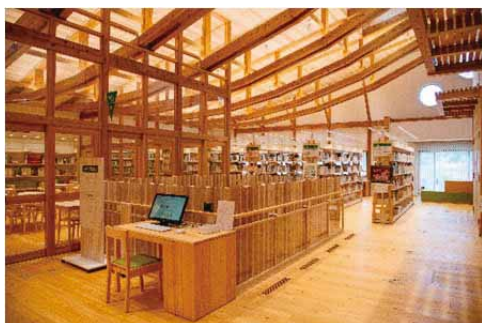
岡山県図書館協会報
(第130号)

あわくら会館・あわくら図書館の ご紹介

令和2年4月5日、生涯学習施設と図書館の複合施設として、あわくら会館・あわくら図書館が開館しました。木造2階建てで、建築面積は約1,265.8㎡です。

西栗倉村の「百年の森林構想」により大切に受け継がれてきた木を無駄なく使い、建物はもちろん、各部屋のテーブルや椅子、書架にいたるまで、村産材をふんだんに利用しており、木のぬくもりを感じる施設になっています。空調には間伐材を利用したチップボイラーを利用して、自然エネルギーを有効活用しています。

2階は一般書・郷土資料、新聞・雑誌、学習や活動のための部屋があります。サロンには、セルフドリンクコーナーが設置され、蓋付き容器の飲み物であれば、館内で飲むことができます。1階には、児童書、和室スペースの他に、映画会や大人数での講座・ワークショップが行える「百森ひろば」があります。1階は、靴を脱いで利用するので無垢の木の感触が気持ち良く、ビーズクッションを好きな場所において読書を楽しむことができます。滑り台と本棚を兼ねる階段スペースがあり、子どもたちが楽しく遊ぶ様子が見られます。



[2階一般書フロア]

■村民が「生きるを楽しむ」ための拠点施設
あわくら会館・あわくら図書館のビジョンは「あつまる、つながる、やってみる、」です。村民一人一人が生きることを楽しみ、学びやつながりを通じ、人や地域が育つための拠点を目指しています。

村民同士が互いに学び合える場づくりのために、自分の好きなことや特技を生かして、村民が講師になり、講座を開催しています。これまで、麴の使い方講座やベレー帽づくり、ハーバリウムづくりなど多彩な村民講師企画が開かれています。



[やってみん掲示板]

また、村民が世代を超えてつながり、仲間作りを行うことできる「やってみん掲示板」というアナログの掲示板を設置しています。掲示板をきっかけに幼児服の譲渡会や村民を紹介するフリーペーパーづくりの活動など様々な取り組みが行われました。

村民が「生きるを楽しむ」ための拠点施設として、人や情報がつながり、利用者の笑顔が生まれる場所になることを願っています。

(あわくら会館・あわくら図書館

蔦木伸一郎)

真庭市立湯原図書館のご紹介

令和元年度より仮移転先での運営をしていた湯原図書館は、湯原ふれあいセンターの改修工事完了に伴い、令和2年4月25日にリニューアルオープンいたしました。

以前の倍以上の広さ(247.46 m²)となったワンフロアの図書館に、キッズコーナーや蓋付きの飲み物を持ち込み可とする閲覧スペースなどを設けています。キッズコーナーは、全体がカーペット敷きとなっており、靴を脱いで、親子でのびのびと絵本を楽しんでいただけます。また、静かな環境を求める方のために独立した「静寂閲覧室」を設置。小さな子どもから大人まで、みなさまが利用しやすい図書館となりました。

湯原ふれあいセンターは、図書館のほかに、湯原振興局・湯原公民館・市民センターの機能を有した複合施設として生まれ変わりました。図書館で借りた本を飲食可能な交流スペースで自由に会話しながら読んだり、シアターの機能が新設されたホールでは、公民館との共催でDVDの上映会を行うなど、図書館の利用の幅が広がりました。



[図書館内]

湯原図書館には、出入口となる部分に扉がなく、どなたでも気軽に立ち寄りやすい開放的なつくりになっています。

本とひと、本と地域をつなぐ「賑わいの場」としての図書館を目指し、一人でも多くの方に利用していただけるよう、一冊でも多くの本を手にとっていただけるよう、工夫し続けていきたいと思っております。

(真庭市立湯原図書館 岩佐容子)

第95回教養講座に参加して

「POPの作り方講座」

期日：令和2年8月21日(金) 参加者：26名
講師：内田 剛氏(ブックジャーナリスト)

岡山県図書館協会創立70周年記念後援事業として、長年POPを研究し、作り続けている内田氏にPOPを作る際の考え方をご教授いただきました。

新刊本の刊行点数が増加傾向にあり、本を探すための手がかりの1つとしてPOPが有効だというお話があ



[教養講座の様子]

り、立ち止まって見たくくなるようなPOPを作るコツを具体的に教えていただきました。本の表紙と同じデザインにしないことや、色画用紙を貼り合わせて作っていく方法、初めにフレームから作るということなど、参考にできることが多くありました。実際に作ってみる時間もあり、教えていただいたことをすぐ試してみることができました。

また、学校の授業で行う場合、生徒にどのようにアドバイスすればよいかというお話もあり、学校図書館の方や子どもたちと一緒に作ってみ



[教養講座の様子]

ようと思われている方にも有意義な講座だったのではないかと思います。この講座に参加して考えたのは、楽しんでPOPを作ることで対象の本のことをより知れること、またPOPを介して人と本をつなげ、人と人をつなげられることです。今回の講座によって、POP作りの輪が広がっていけばいいなと感じました。

(岡山県立図書館 森友佳子)

公共図書館と学校・園との連携 ～早島町立図書館～

早島町は、人口約12,600人、県内で最も面積の小さい自治体です。町内には、保育園3園、幼稚園1園、小学校・中学校がそれぞれ1校あります。町立図書館では、今年度から町内の保・幼・小・中学校との連携を進めています。

主な連携は以下の4点です。

【新着図書リストの提供】

新着図書の中から教育活動に役立つような資料をピックアップしてリストを作り、学校等に送付。校内でリストを回覧してもらい、小・中学校は学校司書を通じて、保育園・幼稚園とは、FAXやメールで直接やりとりして資料の予約・貸出を行いました。またこれに伴い、団体利用者の貸出・予約などの規定も整備しました。

【本の処方箋】

町立図書館所蔵の中から「心がほっとする」「意外な展開を楽しめる」などテーマ別に本を選び、中が見えないように薬袋状にラッピングした本を中学校図書館に置いてもらい、貸出を行いました。同封したアンケートによると、今回の連携した取り組みを好意的に受け止めてくれており、本を手取るきっかけになったようでした。町立図書館に置いてほ



〔処方箋の本を選ぶ中学生〕

しい本についてもリアルな声を聞くことができ、選書に活かすことができました。

【資料提供による授業支援】

小・中学校の各教科で単元学習に入る前に、先生に向けて授業で活用できそうな資料リストを送付しました。小学校の場合、2学期では「どうぶつえんのじゅうい」「ちいちゃんのかげおくり」「ごんぎつね」などです。授業に入る前に送ることを意識し、学校図書館の資料と併せて授業を支援しています。中学校からは「黒人差別の資料」「認知症やLGBTの資料」など先生からの要望を受けて資料を提供しています。

【読書ゆうびん】

町立図書館が、セレクトした本を学校図書館に置き、おすすめの本の紹介を読書ゆうびんに書いてもらう取り組みです。小学校は、低学年・中学年・高学年別に、中学校は、ひとまとめに準備しました。子どもたちが書いてくれたゆうびんは、町立図書館内に掲示し、来館者にお返事を書いてもらう予定です。



〔読書ゆうびん〕

町立図書館の豊富な資料を生かして、日々の学びや先生への支援、子どもたちの読書意欲へのアプローチができればと思っています。

（早島町立図書館 亀山尚子）

瀬戸内市民図書館 ～元気が出る処方箋～

瀬戸内市民図書館では、5月に「元気が出る処方箋」と題して、図書セットの貸出を行いました。

自粛生活の疲れを癒す「おくすり本」を司書が選び、「運動不足を解消したい」「料理の負担を減らしたい」など、12のテーマごとに3冊ずつのセットを作成しました。パッケージは処方薬をイメージしたもので、お困りの「症状」にあわせて選んでいただく趣向です。

「コロナ禍でも図書館ができることは何か?」と、職員全員で考えた企画のうちの一つです。中が見えない福袋形式にしたことで、普段は選ばない本との出会いの場になり、本を選ぶ時間の短縮にもなったようです。

利用者の方からは、「見とるだけで元気がでるなあ」「どっちを借りようかなあ」と楽しそうな声があがり、臨時休館明けの図書館が華やいだ雰囲気になりました。

今後も、新しい生活様式において可能なサービスを考え、充実させていく予定です。

(瀬戸内市民図書館 辰田彩)



〔処方薬を模した図書セット〕

コロナ禍で工夫して

真庭市立中央図書館 ～コロナ禍での取り組み～

昨年度末からコロナの影響で、多くの行事が中止となりました。当館でも定例イベント等を中止せざるを得ず、「今の時代に何ができるか?」を考えていたところ、ボランティアさんから「動画配信してみたら?」と提案をいただき、「歌遊び・手遊び」「幼児向けの昔話」「絵本の読み聞かせ」等の動画配信を「まにわとしょかんチャンネル」としてイベント再開までYouTubeで配信しました。苦労した点は、読み聞かせの許諾申請で、20社近くに照会しましたが、許可いただけたのは1社のみでした。それでもラジオや新聞等、複数のメディアで取り上げていただき、たくさんの方に情報をお届けすることができました。



〔「まにわとしょかんチャンネル」撮影風景〕

また、8月に開催したライブインシアターでは、定数60台が予約で一杯になり、市外への外出の制限や多人数と同室で視聴する不安を無くして、家族で楽しめる時間を提供することができました。

当館での取り組みのポイントは、ボランティアさんでした。人と人との交流が生む力は、様々な難題を解決に導いてくれます。

他館においても様々な取り組みをされている姿を拝見しています。未だコロナで多くの制約がありますが、より図書館が発展するための課題の一つとして対応することで、みんなでコロナの波を乗り越えましょう。

(真庭市立中央図書館 池田政師)

美作市立図書館

～おうちでオリジナルえほんをつくろう～

美作市立図書館では、4月27日からのこども読書週間にあわせ、『おうちでオリジナルえほんをつくろう』というイベントを実施しました。コロナ禍で、なかなか外出ができない子どもたちに、少しでもおうち時間を楽しんでもらおうと企画したイベントです。

絵本の台紙は図書館で準備し、希望する来館者に配布しました。A3用紙を折りたたむと6ページの絵本が作れる簡単なものですが、台紙の工夫に多くの保護者の方が興味を持ってくださり、子どもたちと一緒に「おうち時間」楽しむことができたようです。

自分でストーリーを考え、絵を描くのはとても難しいことですが、「もう1冊ほしい」「かわいい絵が描けたから」と度々来館してくれる子どもたちがいて、嬉しく思いました。子どもたちが作成した絵本は、6・7月に館内に展示し、来館された方にも見ていただきました。

館内での台紙の配布は終了していますが、現在も美作市立図書館ホームページの「こどもページ」からダウンロードできます。ぜひ、オリジナル絵本を作ってみてください。

(美作市立中央図書館 山本昌代)



[オリジナル絵本の数々]

開催したイベントの紹介

勝央図書館

～1つを放って2つを得る～

「1石2鳥」「勿怪(もっけ)の幸い」とはこのことか。勝央図書館では、この夏休みは「海のいきもの大集合」と題し、借景ならぬ和室を海に見立て、青と白の荷紐で海を作りました。某カギ型の腕を持つ船長に似た「ブック船長」が現れ(手作りで手が動きます)、新聞紙で作った釣り竿で、畳の海の生き物を釣ると、プレゼントがもらえる企画。当初は、人の移動による感染拡大が懸念されるコロナ禍

での夏休みを迎えるにあたり、どうやったら来館者に、安心して図書館を楽しんでもらえるかを考えて練り、利用者が遠出をしなくても夏を楽しめるイベントとなりました。

同時に、案を練るうちに、懸案であった「何度案内しても和室に座して長時間の滞在をしようとする方」へのアプローチになることに気づき、解決できるといった思わぬ効果もありました。

全員の想像力をフル稼働して実施し、利用者と一緒に楽しみながら取り組みができたと思います。

(勝央図書館 関 瞳)



[ブック船長とボーナスステージの様子]



[手も動く仕掛けも]

金光図書館

～リモートでの夏休みイベント～

毎年開催する夏休みの宿題お助け講座「わくわく科学おもちゃづくり」は、コロナ禍の中でも子どもたちに少しでも楽しんでもらいたいと願い、今年はリモートで開催しました。講師は、地元でも親子科学おもちゃ教室を開催している奈良県在住の方。今回は、CD とビー玉を使った「CD コマ」をテーマに、画面の向こうで、作り方、コマを回すコツ、コマを回したときの色々な見え方などを教えてくださいました。

職員は、講師とリモートのリハーサルで作り方を先に学び、当日の席配置もなるべく子どもたちの顔や声が入るようにし、手元の様子を違うカメラで映したりと、講師が指導しやすいように工夫しました。親子 5 組（うち 1 組はリモート参加）の参加者は、最初は戸惑っていましたが、すぐに慣れ、講師とのやりとりもスムーズに行われました。その後、回線の不具合もなく無事に終了。講師と参加者のみなさんも楽しかったと喜んでくれました。職員からも楽しかった、勉強になったとの声上がり、今後も図書館活動に活用していきたいと思えます。



【当日の様子】

(金光図書館 岡田清華)

コロナ禍で工夫して開催したイベントの紹介

中国学園図書館

～インターネットブックハンティングを行いました！～

中国学園図書館では毎年、学生有志と教職員とともに書店に出向いて選書をする選書ツアーを実施しています。しかし、今年は新型コロナウイルスの流行で、断念せざるを得ませんでした。オンライン授業や在宅ワークが勧められるなか、かねてより検討していた丸善ジュンク堂書店の JUNKUDO Book Web を用いて、当館では初めてのインターネットブックハンティングを実施しました。

参加者には事前に、PC またはスマートフォン・iPhone・タブレットのいずれを使用するか尋ね、機器にあわせた選書手引き資料および専用 ID と PASS を 1 人ずつに配布しました。参加者は PC やスマートフォンから書店の HP を開き、専用の ID と PASS を入力して選書ページに移動し、そこから自分の興味・関心がある分野の本や図書館に置いてほしい本を選んで選書カートに入れ、最後に選書終了ボタンを押して終了です。全ての選書リストを確認し、図書館から発注します。

実施してみて良かった点は、書店に出向かなくても期間内であればいつでも何度でも選書できる、探している本がすぐに見つかり店頭には並んでいない本も選べる、品切れの心配や重複選定が少ないことが挙げられました。困った点は、キーワード検索で膨大な冊数の候補が出てしまい却って選べない、知らなかった本や店頭で偶然見つけた本との出会いがないことが挙げられました。

今後は選書ツアーとネット選書の併用を考えています。

(中国学園図書館 遠藤聡美)

**延原記念図書の複製シリーズ
— 図書館のお宝紹介 (第7回) —**

和気町立佐伯図書館の一角に延原観太郎のぶはらかんたろうの銅像とともに延原記念図書コーナーがあります。

延原観太郎(1888~1972)は、現在の和気町に生まれ、主に関西で活躍しました。電気関係で280余りの特許を持つ優れた発明家であり、事業家でもありました。また郷土の発展に深い理解と関心をよせ、多大な貢献をしました。



[延原観太郎の銅像]



[延原記念図書コーナー]

昭和49年に整備された延原記念図書館もその中の一つです。当初は、佐伯町民会館内にありましたが、現在は延原記念図書コーナーとして当館の中にあります。

延原記念図書には『複製 日本古典文学館』シリーズや『新選名著複製全集 近代文学館』シリーズなど県内の図書館にあまり所蔵のない貴重な資料があります。



[複製シリーズ 日本書紀・源氏物語・徒然草等]



『複製 日本古典文学館』シリーズは、万葉集・日本書紀・源氏物語・徒然草など古典中の古典を可能な限り原本に近い状態に再現したものです。日本人がいにしえから現代まで大切に伝え

てきた古典籍も、本来どのような姿をしていたかを知る機会意外に少ないのではないのでしょうか。今まで印刷された活字でのみ見ていた古典の名文を巻物や和装綴の文面の中から発見するのは、なかなかの感動ものです。



[複製シリーズ 吾輩は猫である・たけくらべ等]

『新選名著複製全集 近代文学館』シリーズは明治初期から昭和初期にかけて刊行された名著を初版の姿で再現しています。中には金粉をほどこした本など装丁の凝ったものもあり、当時はかなり高価であったであろうことがうかがえます。また、夏目漱石の自筆原稿(複製)など文豪の息遣いが伝わってくるようです。



[企画展示 複製シリーズ 江戸時代編]

これらの資料のうち『近代文学館』シリーズは、延原記念図書コーナーに配架しているのですが、『日本古典文学館』シリーズは、閉架書庫で保管しているため、お声かけいただき、見ていただくようになります。

ぜひ、日本文化の遺産である古典籍や名著を間近でご覧ください。

(和気町立佐伯図書館 竹内あい)

お知らせ

■理事会・定期総会

新型コロナウイルス感染拡大防止の趣旨から、理事会を书面開催し、総会（書面）で事後承認を受けました。配付資料および結果は協会ホームページで公開しています。

【令和2年度役員（敬称・役職略）】

会 長	(施) 岡山県立図書館	中本 正行
副会長	(施) 岡山市立中央図書館	宮本 嘉彦
〃	(施) 岡山大学附属図書館	今津 勝紀
理 事	(施) 倉敷市立中央図書館	梶田 貴代
〃	(施) 総社市図書館	矢吹 慎一
〃	(施) 津山工業高等専門学校図書館	原田 寛治
〃	(施) 金光図書館	大矢 嘉
〃	(個) 学校司書	成本 由貴
〃	(個) 青年図書館員研修会	佐藤 賢二
〃	(個) JLA 代議員	菱川 廣光
監 事	(施) 津山市立図書館	大河原信子
〃	(施) 早島町立図書館	亀山 尚子
参 与	岡山県教育庁生涯学習課	栗原 宏之

〈※ (施) 施設会員、(個) 個人会員の略〉

■本年度の研修

- 教養講座 8月21日(金)
(岡山県図書館協会創立70周年記念後援事業)
「POPの作り方講座」
講 師：内田 剛氏 (ブックジャーナリスト)
会 場：岡山県立図書館
参加者：26名
- 県図協セミナー(第1回) 11月20日(金)
「水濡れ資料の救済について」
講 師：眞野 節雄氏
(公益社団法人日本図書館協会資料保存委員会委員長)
会 場：岡山県立図書館
- 県図協セミナー(第2回) 1月22日(金)
「図書館とゲーム」
講 師：高倉 暁大氏 (ゲーム司書)

会 場：岡山県立図書館

■令和2年度企画委員

委 員 長 亀山 尚子 (早島町立図書館)
副委員長 石田紫珠香 (岡山市立中央図書館)
委 員 草木原圭子 (岡山県立図書館)
〃 小野 紀子 (倉敷市立中央図書館)
〃 福本 浩子 (備前市立図書館)
〃 山本 昌代 (美作市立中央図書館)
〃 三宅 深雪 (和気町立図書館)
〃 原 恭子 (倉敷市立短期大学附属図書館)
〃 小野早百合 (吉備国際大学附属図書館)

■教養講座の資料提供

先に開催しました標記の研修について、資料を提供していますので、必要な方は事務局までご連絡ください。

■創立70周年記念事業

当協会は、令和3年に創立70周年を迎えます。これを記念して様々なイベントを計画中です。小川洋子さんトークショー、POPコンテスト、昼田弥子さんの子ども向けイベント etc.

会員の皆様には、イベントの案内をお送りしますので、楽しみにお待ちください。

【事務局から】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当会報の発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

当協会では、このような状況でも、感染拡大の対策を講じた上で、各種講座の開催と事業を実施して参りたいと存じます。このような活動を通じて、図書館事業の発展及び会員の資質の向上を図って参ります。引き続き、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

令和2年11月30日発行

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-6-30

岡山県立図書館 図書館振興課内

岡山県図書館協会 会長 中本 正行

TEL：086-224-1286